

図書カード

—弱さを克服し誇りある生き方を—

- 1 学年 第9学年〔後期〕
- 2 主題名 誇りある生き方〔3－（3）〕
- 3 ねらい 主人公の表彰式までの気持ちや葛藤を考慮することを通して、人間がもつ弱さを克服し、自身に恥じない誇りある生き方を目指そうとする態度を育てる。
- 4 資料名 「図書カード」
- 5 展開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 作品応募に出品した体験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休みに書いた歯の作文参加に歯ブラシをもらった。 ・ 先輩が書いた人権作文が文部科学大臣賞になり、新聞にも載った。 	○ 夏休み等に出した応募作品（作文・標語・習字・ポスター等）について内容、結果、賞品等について調べておく。
展 開	2 資料「図書カード」を読んで話し合う。 ○ ネット上で検索をかけて標語を盗作した時の佳明は、どんな気持ちでしょう。 ○ 藤野先生からコンクールの結果を聞いた佳明は、どんな気持ちでしょう。 ◎ 表彰式前日、佳明はどんなことを考えたでしょう。 ○ あなたが佳明ならどうしているでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提出日の朝を迎えているのに思いつかないので仕方ない。 ・ 本当はよくない。 ・ まさか賞がもらえるとは思わなかった。 ・ 図書カードがもらえるし、藤野先生にも喜んでもらったし、とてもうれしかった。 ・ 盗作がばれたら、どうしよう。 ・ 本当のことを伝えるべきかどうか悩んでいる。 ・ このまま黙っていてもばれないのでは。 ・ あんなに藤野先生が喜んでいのに、このままでいいのか。（藤野先生は今年度限り） ・ コンクール主催者に迷惑がかかってしまうのでは。（真実を伝えるなら早いほうがいい。） ・ キャプテンとしての信頼がなくなってしまうと、今後が心配だ。 ・ 藤野先生に真実を伝え、呉警察署にも謝罪に行く。 ・ 親に相談してみる。 ・ やっぱり真実を言えない。 ・ いつかは言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 提出日当日のあせっている佳明の気持ちに共感させる。 ○ 自分の思いだけでなく、藤野先生、コンクール主催者、バスケット部員等、さまざまな人への思いや影響を考えさせる。 ○ ねらいにせまるための切り返し発問を準備しておく。 ○ 佳明が弱い自分を克服するためにどんなことが必要なのかという視点でも考えさせる。 ○ 資料に佳明の判断が書かれていないが、盗作は認められるわけではないので、最終的には真実を伝えなければならない方向へまとめる。
終 末	3 教師の説話を聞く。		○ 弱い自分を克服した（しようとした）体験談等を語る。

6 授業の概要

(1) 主題について

ありのままの人間は決して完全な存在ではなく、様々な誘惑に負けたり、易きに流れたりする弱さを持ち併せた存在である。しかし、それを乗り越えて行こうとするところに人間としての価値がある。中学生の時期は、人間が内に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さを併せてもっていることを理解することができるようになってくる。

そこで、決して自分自身に絶望することなく、その人間としての自身に恥じない、誇りある生き方、夢や喜びのある生き方を見出し、いこうとする態度を育てたい。

(2) 自作資料活用のポイント

ア 活用時期

夏休みには、様々な作文や標語、さらに絵画やポスター等の応募作品に取り組みせることも多いと思われる。夏休み前に実施することで、授業で学んだことを生活に生かすことができるようにしたい。

イ 資料の結末について

表彰式前日になかなか眠りにつけない主人公の気持ちを考えさせる等により、ねらいにせまりたい。また、展開後段において、生徒一人一人の価値観で考えさせるために自分を主人公の立場に置き換えて考えさせたい。

ウ 著作権等の学習との関連

社会科、技術・家庭科、総合的な学習の時間等の著作権等を扱う学習の際に活用すると、効果的である。

(3) 指導過程の工夫

ア ネームプレートの活用

X軸に「気持ちはわかる」(0～100%)、Y軸に「許される」(0～100%)を示した表を示し、自分が共感できる場所にネームプレートを貼らせることで、自分の思いを確かめさせる等の工夫を行いたい。

イ 切り返しの発問の工夫

中心発問で表彰式前日の佳明の思いを考えさせる際に次のような切り返しの発問をすることにより、各自の思いや考えを深めさせたい。

「ばれた時、本当に藤野先生が喜んでくれるのでしょうか。」

「今、真実を伝えるのと、後になって真実が分かるのは、どちらがいいのでしょうか。」

「もしばれた時に、バスケ部キャプテンとしてやっていけるのでしょうか。」

ウ 役割演技の工夫

「あなたが佳明ならどうしているでしょう。」という発問を行う際に、誰にどのように真実を伝えるかということについて本音を語らせるために、役割演技を取り入れることも考えられる。

(川尻中学校 河野靖弘)